

果樹 除草剤 成績概要用紙

薬剤・樹種	試験圃場所名	処理時期 土 壤	処理 年月日	品種 台木 樹齢	薬量	散布 水量	展着剤 と 添加量	対象草種	草高	効 果			効果 の 程度	抑草 期間	薬害 の 程度	総合 評価	判定	摘 要
										発現日	完成日	再生発現						
ABC-123液 / ナシ	〇〇県果樹試験場 場内圃場	春期 ・ 淡色黒 ボク土 壇壤土	林 年 5 月 1 日	幸水 ・ やまな し台 ・ 15年生	無処理 (放任)	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	一年生雑草に対する効果高く、抑草期間が長いことと、ナシに対する薬害が認められなかったことから、一年生雑草を対象として300~500mL/10a<水量100L/10a>で実用化可能である。
					300mL /10a	100 L/10a	□□□	スノオガビラ	20 cm	2 日	10 日	30 日	5	50	無	+++	○	
					400 /10a	100	〃	アズナギ	25	2	10	30	2	50	無	+++	○	
					500 /10a	100	〃	カスエトウ	18	1	8	45	1	60	無	×	○	
					対DEF液 400mL /10a	100	無加用	ツバキ	23	5	10	20	18	30	無	+++	○	

網掛け部分は印刷されませんので書き込まないで下さい。 薬害試験は生育調節剤の様式にてご作成下さい。

果樹 生育調節剤 成績概要用紙

薬剤・樹種	試験圃場所名	処理 年月日	品種 台木 樹齢	処理時期 処理方法 等	試 験 区	調 査 結 果 の 要 約								判定	摘 要
						処理区	果房重 g	着粒数 粒	果粒重 g	裂 果 %	無核果率 %	糖 度 ° Brix	酸 度 g/100mL		
DEF-456液 / ナシ	〇〇県果樹試験場 場内圃場	林 年 5 月 28 日 ・ 6 月 11 日	藤稔 ・ 元々5BB ・ 5年生	1回目処理 満開~満開3日 後 花房浸漬処理 2回目処理 満開10~15日後 果房浸漬処理	①25ppm →25ppm	DEF-456処理を行った藤稔の果実品質（露地8/22収穫）								○ ○ 試験区ごとに判定する	満開時~満開3日後の花房浸漬及び満開後10~15日の果房浸漬の2回処理で、無核化及び果粒肥大が促進された。満開時~満開3日後に25~50ppmの花房浸漬及び満開後10~15日に25~50ppmの果房浸漬で実用化可能である。
					②50ppm →50ppm	処理区	果房重	着粒数	果粒重	裂 果	無核果率	糖 度	酸 度		
					③無処理区	①	688.8	31.4	22.3	1.0	95.2	16.9	0.47		
						②	680.0	31.6	21.9	0.8	96.2	17.2	0.47		
	③無	573.8	32.0	19.1	1.0	0.0	17.6	0.45							